

二十歳のつどい祝辞（令和7年1月12日）

ふるさと厚真町に集われた、20歳という人生の節目の歳を迎えられた皆さんの門出をお祝いするとともに、これまで深い愛情をもってお子様を立派に育てあげられたご家族の皆さまに心からお祝い申し上げます。皆さんの表情は、多少の気負いも感じられ初々しさが残るなか、とても晴れやかで眩しく、お招きいただいた私たち明るい未来を感じられて大変うれしく思っております。そして、久々に会う旧友との再会に心躍っていらっしやると思いますが、せっかくの節目でありますので、皆さんが過ごした20年の軌跡を、これまで皆さんを支えてくれたご家族や大勢の方々との出会いに感謝しつつ、思い返して嘯みしめていただければ幸いです。

今年、厚真町では30名の方が二十歳を迎えられました。今年度の二十歳のつどいの参加者対象者は平成16年から平成17年生まれの皆さんです。皆さんが生まれた年は、アテネオリンピックが開催され、水泳の北島康介選手や、女子レスリングの吉田沙保里選手が活躍しました。また、メジャーリーグでは「イチロー」の愛称で親しまれている鈴木一郎選手が、84年ぶりの年間最多安打記録更新となる262安打を記録し大きな話題を集め、この記録は現在でも破られていない大記録となっています。

さて、二十歳という節目を迎えられた皆さんは、この二十歳のつどいをきっかけに大人としての責任や自立といったことを意識されていくのではないのでしょうか。そんな皆さんへ、私から2つのお願いがあります。二十歳ともなれば飲酒や喫煙といったいまままで制限されていたことが出来るようになり、今まで以上に自由や権利は大きなものとなっていきます。しかし、それ以上にこれからは大人としての責任が重くなります。世の中には、甘い言葉で若者を誘い込む悪質な情報が溢れています。近頃、ニュースで耳にする闇バイトもその一種です。インターネットやSNSなどで簡単に情報が手に入る今の時代、目にした情報が本当に正しいのか疑い、複数の情報を集めて客観的に判断する習慣を身に付けてください。自分自身の身を守るためにも、これからの時代を生き抜くうえでも大切なことです。もし、不安なことがあれば迷わず信頼できる人や専門機関に相談してください。皆さんの周りには必ず助けてくれる人がいます。ひとりで抱え込まず、周囲の人に相談するのが正しい判断をするうえで大切です。

もう一つは、選挙に行き、投票をすることです。選挙は毎年のように執行され、昨年10月にも衆議院選挙が行われました。既に投票に行ったこと

のある方もいるかと思いますが、プライベートや仕事で予定が合わず、投票日に投票に行くことができなかつた方もいると思います。そのようなときは、選挙の公示日の翌日から投票できる期日前投票といった制度があります。また、期間中に町外へ滞在している場合でも不在者投票といった滞在先の市区町村から投票可能となる制度もあります。ぜひ、この制度を活用していただければと思います。現代の社会は、少子高齢化や自然災害の激甚化など、様々な問題が山積みとなっていますが、皆さんは、そうした問題を解決するための大きな一票、権利を持っています。積極的に政治に関心を持ち、賢く投票をするのが、より良い社会を築くために不可欠となっています。今年は、参議院議員選挙が予定されていますので是非、投票を通して社会に対する意思表示を行っていただきたいと思います。

結びに、不屈の魂のように先人から受け継いだバトンが次世代の皆様方に受け継がれることを願い、前途洋々たる皆様とご家族の皆様にご幸多かれとご祈念申し上げ、祝辞といたします。本日は誠におめでとうございます。

令和7年1月12日

厚真町長 宮坂 尚市朗